令和8年10月18日(日)
令和8年度 第1回宮城県地球温暖化防止活動推進員候補者養成研修

資料3

宮城県の現状と施策紹介



宮城県　環境生活部　環境政策課
みやぎゼロカーボン推進班



1. 宮城県の脱炭素目標

世界では・・・

- パリ協定（2015年）

  気候変動枠組条約締約国会議（COP21）で採択

  世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より
  十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」

- 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）「1.5℃特別報告書」（2018年）

  世界全体の平均気温の上昇を、2℃を十分下回り、
  1.5℃の水準に抑えるためには、
  CO2 排出量を 2050 年頃に正味ゼロとすることが必要

  → 報告書を受け、世界各国で、2050 年までの
  カーボンニュートラルを目標として掲げる動きが広がった

1. 宮城県の脱炭素目標

国では・・・

- 政府は、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言
  ※パリ協定に定める目標を踏まえて宣言

  2050年カーボンニュートラルを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明する自治体が増加　※2026年6月30時点　全国1,215自治体が表明

- 2021年6月に改正『地球温暖化対策推進法』を公布

  2021年10月 **「地球温暖化対策計画」を改訂**

2030年度までに国全体の温室効果ガス排出量を
基準年度（2013年度）比　**46%削減**

1. 宮城県の脱炭素目標

宮城県では・・・

- 2019年12月に県議会で知事がゼロカーボン宣言
- 2021年3月、宮城県環境基本計画（第4期）の策定

長期目標「**2050年二酸化炭素排出実質ゼロ**」

- 2023年3月、「**みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略**」策定

2030年度までに県全体の温室効果ガス排出量を
基準年度（2013年度）比　**50%削減**

1. 宮城県の脱炭素目標

直近の動向

- 世界では・・・

  2023年のCOP28で世界全体の進捗状況を評価

  → パリ協定の1.5℃目標を達成するためには
  2030年までに43%、2035年までに60%の削減が必要

- 国では・・・

  2025年2月 地球温暖化対策計画の改訂が閣議決定

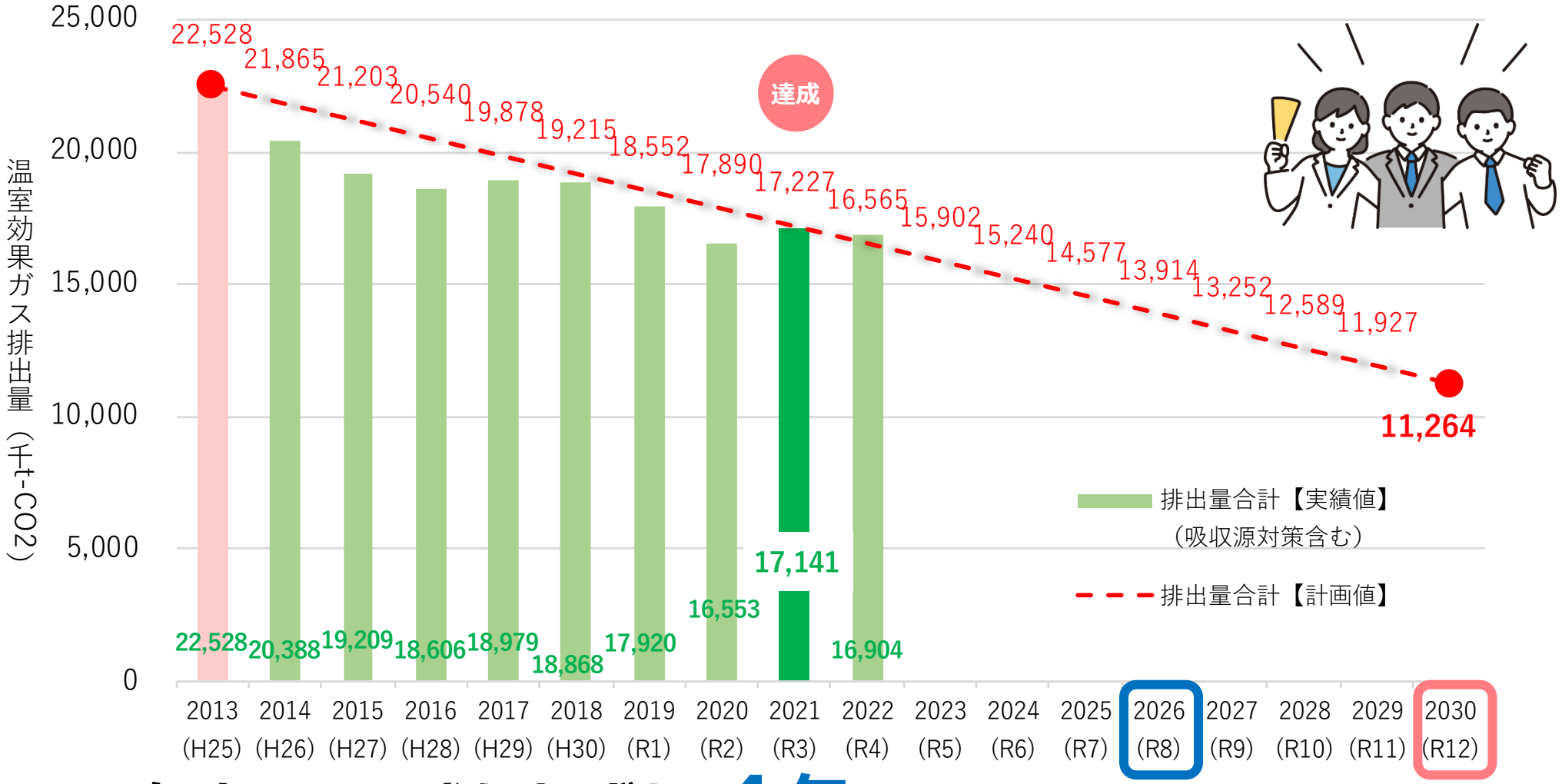
  → 国全体の温室効果ガス排出量を
  2035年までに**60%削減**、2040年までに**73%削減**が必要

- 宮城県では・・・

  「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略」の見直し作業中

  → 2030年度までの削減目標を見直し
  2035年度、2040年度までの削減目標を新規設定
  ※今年度中改定予定

1. 宮城県の脱炭素目標



2030年度まで、残りわずか ４年…　NOW

今まさに、**県民・県内事業者様、一人一人の行動変容が必要！**

※中でも必要削減量が大きい（対策強化が必要な）分野は「家庭」「業務（オフィス）」部門！

<部門別の温室効果ガス排出量>

区　分		基準年度（2013）	目標年度（2030）		2021（R3）〔確定値〕					2022（R4）〔速報値〕	
		排出量（千ｔ）	排出量（千ｔ）	対基準年度（%）	排出量（千ｔ）	構成比（%）	対前年度（%）	対基準年度（%）	目標年度までの必要削減量（千ｔ）	排出量（千ｔ）	対前年度（%）
エネルギー起源		20,075	10,615	▲47.1	15,852	84.7	4.6	▲21.0	5,237	15,678	▲1.1
（エネルギー起源内訳）	エネルギー転換	1,173	1,089	▲7.2	1,108	6.0	4.3	▲5.6	19	1,108	0.0
	産　業	5,348	3,577	▲33.1	4,694	25.5	8.0	▲12.2	1,117	4,551	▲3.1
	業　務	4,639	1,580	▲65.9	3,314	18.0	15.2	▲28.6	1,734	3,043	▲8.2
	家　庭	4,269	1,566	▲63.3	2,957	16.1	▲3.3	▲30.7	1,391	3,080	4.2
	運　輸	4,645	2,803	▲39.7	3,779	20.6	▲0.7	▲18.6	976	3,897	3.1
非エネルギー起源		900	674	▲25.1	842	4.6	5.4	▲6.5	168	892	6.0
その他ガス		1,553	1,144	▲26.3	1,693	9.2	5.5	9.0	549	1,603	▲5.3
排出量計		**22,528**	**12,433**	**▲44.8**	**18,387**	**100.0**	**4.8**	**▲18.4**	**5,954**	**18,173**	**▲1.2**
森林等吸収量		▲1,316	▲1,316	基準年以上	▲1,246	－	24.6	▲5.3	70	▲1,269	1.8
合　計 森林等吸収量含む		(22,528)	**11,264**	**50.0**	**17,141**	**－**	**3.6**	**▲23.9**	**5,877**	**16,904**	**▲1.4**

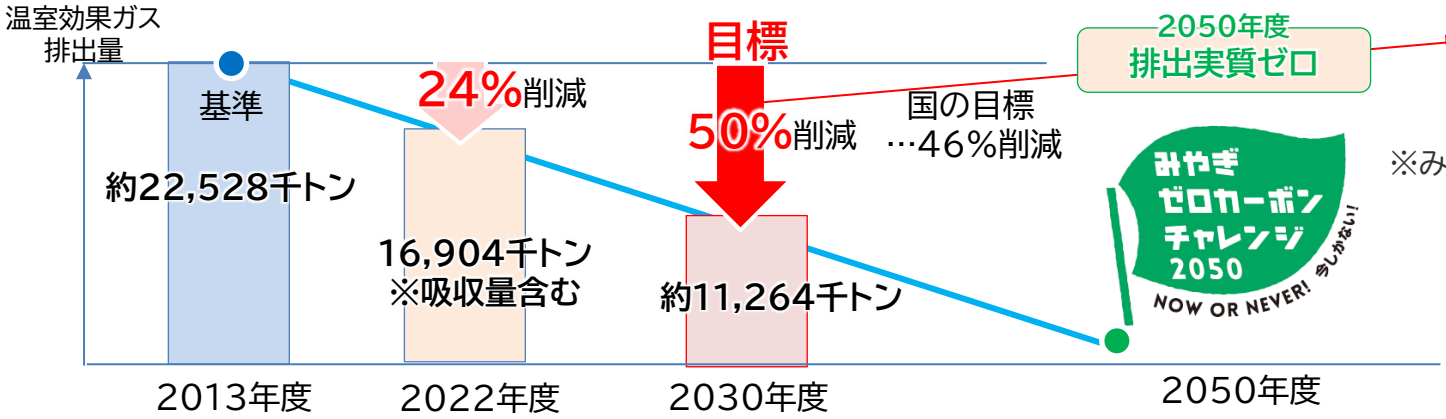
○2030年度の目標達成に向けては、「業務（オフィス）部門」「家庭部門」をはじめ、各部門の脱炭素の取組が必要

○令和８年度の重点対策

- ✓ 事業所・住宅における省エネ改修、自家消費型太陽光発電設備導入の促進
- ✓ 運輸部門における環境配慮車導入の促進
- ✓ 「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050県民会議」や環境配慮行動促進アプリ等を通じ、節電や再配達防止など、家庭・オフィスにおける県民一人ひとりの脱炭素の取組の促進

1. 宮城県の脱炭素目標

温室効果ガス排出量の削減目標



この目標のうち、
家庭部門で削減するのは、
2030年度までに
約270万t-CO2

※みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略参照

家庭での行動を
県民全員で習慣化すると大きな力に！

行動	内容
節電	エアコンの使用時間を1時間短くする
	冷房の設定温度を1℃高く、暖房の設定温度を1℃低くする
	テレビの視聴時間を1日1時間短くする
	冷蔵庫を省エネ型に買い換えて使用する
節水	シャワーの時間を5分間短くする
エコバッグを使用	レジ袋の受取を辞退する
マイボトルを利用	ペットボトルを使用しない（1日500mL×2本）
食品ロス削減	お茶碗約1杯分（約113g）の食品ロスを1回削減
再配達防止	宅配便を1回で受け取る
エコドライブ	ふんわりアクセルeスタートの実施

県民皆さんの
一人一人の行動が
必要です！

これらの取組を毎日行うと
年間で
422.9kg-CO2削減

県民みんなで取り組むと
937,141,435kg-CO2
＝ 93万t-CO2 削減できる！

※削減目標（270万t-CO2）の約3割に相当します



2. 脱炭素に向けた取組

■脱炭素社会の推進

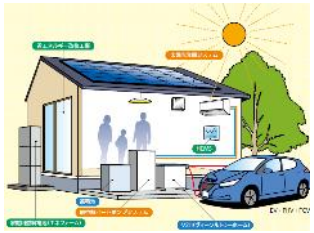
➢ 環境配慮と経済発展が両立する地域社会を構築するため、家庭や事業所における積極的な二酸化炭素の削減に向けた取組を推進



再エネ設備の導入促進



FCバスの運行



住宅の省エネ改修，太陽光発電・燃料電池・蓄電池等の設置への補助



FCVの導入補助
など

■気候変動の影響への適応

➢ 気温や海水温の上昇など，気候変動の影響によって生じる（又は生じるおそれのある）被害を回避・軽減する取組を推進



環境の変化に
強い海藻の養殖試験



高温に強いイネの新品種作り

■ 森林の保全及び機能強化

➢ 二酸化炭素の吸収をはじめとした多面的機能を持つ森林や里山の管理・保全及び森林資源の活用に資する取組を推進



間伐の推進



住宅への県産木材の利用促進

■環境教育

➢ 環境教育リーダー出前講座の実施など



環境出前講座



水生植物園における環境学習

■市町村に対する支援

➢ 市町村が行う地域の環境課題の解決に向けた事業を支援するため市町村に交付金を交付



公共施設の照明のLED化



学校の断熱改修の実証

3. みやぎゼロカーボンチャレンジ2050県民会議

2050年に向け、温室効果ガスをできるだけ排出しない暮らしや事業活動をオールみやぎで推進することを目的に、令和5年11月に組織した産学官民連携組織です！

組織図

会長：知事

企画委員会

・企画委員会は、団体会員から構成される、県民会議の運営について企画検討を行う組織です。



団体会員（企業・団体）

脱炭素ライフ推進部会

取組例

・エシカル消費
・食品ロス削減
・再配達防止

などの環境配慮行動

省エネ建築推進部会

取組例

住宅や事業所の
・省エネ化
・太陽光発電導入
・ZEH・ZEB化

エコタウン推進部会

取組例

地域と共生した再エネ等の推進に向けた
・セミナー
・先進地視察

・部会は、各テーマに関連する団体会員が協働し、課題解決に向けて取り組む組織です。

会員登録はこちら！

個人会員



みんなでアクション
エコして

ポイントたくさん
ためて
エコポイント

うれしいプレゼント
当たる！

● アプリ「eco チャレンジみやぎ」から 会員登録！
● エコアクションを実践するとポイントが貯まり、30ptごとに抽選で賞品が当たる！

登録はこちら！

LINE

会員数（令和8年9月現在）
団体会員　322団体
個人会員　430名

みやぎゼロカーボンチャレンジ2050 NOW OR NEVER! さしかない！
県民会議

3(1) 主催イベント「みやぎゼロカーボン大作戦」

●民生（家庭）部門の排出量削減に向けて、2050年を担う若年層、特に「**親子連れ及び地球温暖化対策への関心の薄い層**」を主要ターゲットとして設定。

●まずは「楽しそう！行きたい！」と感じてもらえるような、**双方向性**を意識したコンテンツを重視。





3(1) 主催イベント「みやぎゼロカーボン大作戦」

- 「こんな風に楽しく学べるんだな」と雰囲気を掴むヒントにしてみてください。
  まずはご家族やご友人と、イベントへ遊びに行ってみませんか？









3(2) みやぎゼロカーボン学生アンバサダー

- 2050年の担い手である学生の皆様にも、県民会議の活動に主体的にご参画いただきたく、ご応募いただいた大学生等を委嘱。
- 県民会議との協働を通じて、県内の若者を動かす原動力に！



アンバサダーの活動例・メリット

- ✓ キックオフミーティングや県民会議の総会、講習会などへの参加！
- ✓ 千人規模イベント「みやぎゼロカーボン大作戦」への出展！
- ✓ 県民会議の会員企業を訪問・取材！
- ✓ SNSやWEBサイト等を通じた情報発信！
- ✓ ロゴマーク やキャラクター「へらすベア」を活用したPR！
- ✓ 地球温暖化対策に関する施策の企画立案！
- ✓ これらに係る打合せ（月1～2回程度 @仙台市内）への参加！

委嘱状を交付するほか、オリジナル名刺やピンバッジを支給します！

▶みやぎゼロカーボン大作戦



- ➢事業の企画・運営・デザインに携わる
- ➢企業・団体、県と協働する
- ➢他の学生と協働する
- ➢県行政に携わる
- ➢企業・団体や県の取組を知る
- ➢地球温暖化への理解を深める

チャンス！

3(2) みやぎゼロカーボン学生アンバサダー

●みやぎゼロカーボン大作戦のブース出展







●エコアクション体験レポート（再配達防止・マイボトル利用）



再配達防止アクション②：宅配バッグの利用

白倉：私は再配達防止のために、宅配バッグを活用してみました。
普段宅配をお願いするときは、極力お店に買いに行くことと、時間指定を利用することを心がけていますが、今回初めて、宅配バッグとして日本郵便さんのOITETTEを利用してみました。
宅配バッグの利用には、特別な登録等は必要なく、通常宅配で依頼をし、ドアノブにコンパクトに丸めたOITETTEをかけておきます。

・感想
最初は組み立てに少し悩いましたが、鍵がついていて安心な設計だと思いました！
また、収納するとすごくコンパクトなので、普段から設置していても気にならないサイズだと思います！





実際に給水スポットへ行ってみました！

給水スポット①：コンフォートホテル仙台東口

場所：〒983-0864　仙台市宮城野区名掛丁２０５−５（仙台駅東口から徒歩圏内）
コンフォートホテル仙台東口 2階

3(3) ポータルサイトを通じた情報発信

●地球温暖化対策に関する情報を一元発信するポータルサイトを県が運営。
閲覧者の属性（事業者、県民会議会員、子ども等）に応じて情報表示が可能。

No	項目	内容
1	基本的事項	・地球温暖化の原因と対策、なぜ対策が必要なのか
2	みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略	・概要・目標の考え方・進捗状況等
3	みやぎゼロカーボンチャレンジ2050県民会議	・会員登録、県民会議の取組紹介 ・会員からのお知らせ(イベントや環境配慮製品･サービスの登録・周知)
4	県・会員によるイベント等の情報	・イベントカレンダー
5	みやぎゼロカーボンアワード	・制度概要、応募案内、受賞者紹介等
6	みやぎゼロカーボン大作戦	・みやぎゼロカーボン大作戦の案内
7	学生アンバサダー	・学生アンバサダー制度、募集案内、活動紹介
8	アプリ「ecoチャレンジみやぎ」	・アプリの紹介、アクションメニュー、QA
9	環境配慮行動の啓発ページ	・具体的な取組を提案 ・県民会議の取組を紹介
10	環境教育	・会員が提供している環境教育メニューの紹介
11	補助制度	・目的別に補助制度を検索できるページ

3(3) ポータルサイトを通じた情報発信

●こども向け解説ページ



●脱炭素ライフ解説ページ



ポータルサイトはこちらから

3(4) アプリ「eco チャレンジ みやぎ」を活用した普及啓発

●県民の皆様に、身近な地球温暖化対策について理解と関心を高め、環境配慮行動につなげていただくことを目的として、県が運用している**LINEミニアプリ**です。
●ポイント付与の対象となるエコアクションメニューや、協力企業・団体（施設・店舗）の拡大を図っています。

【アプリ登録者数】7,426名（令和８年８月末日時点）



・県民会議の個人会員は、当該アプリを経由して会員登録いただく運用としています。



エコアクションメニューの新設、協力企業・団体（施設・店舗）の追加、協賛品のご提供などにご協力いただける団体・企業の皆様を募集しています。ご協力いただいた場合には、ホームページ及びアプリ内で、団体・企業名を掲載しＰＲいたします。

3(4) アプリ「eco チャレンジ みやぎ」を活用した普及啓発

●エコアクションメニュー



3(5) 部会の取組【脱炭素ライフ推進部会・マイボトル推進プロジェクト】

●みやぎコロロオドル・マイボトルキャンペーン(6/1～8/31)

・マイボトルを使うことでペットボトルなどのワンウェイプラスチック削減
・動画を見てクイズに答えると、抽選で150名様にマイボトル関連商品をプレゼント！



このキャンペーンは、温室効果ガスをできるだけ排出しない暮らしや事業活動を推進する産学官民連携組織「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050県民会議」の会員による協働プロジェクトです。
環境に配慮した消費行動として「エシカル消費」の推進に取り組んでいます。

プロジェクトメンバー

■味の素AGF株式会社東北支社
■ウォータースタンド株式会社
■公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
■宮城県生活協同組合連合会

参画店舗

■イオン東北株式会社　■株式会社伊藤チェーン
■株式会社ウジエスーパー　■株式会社ファミリーマート
■フレスコ株式会社　■みやぎ生活協同組合
■株式会社ヤマザワ　■株式会社ヨークベニマル
※一部店舗では実施されていない場合もあります

応募方法



3(5) 部会の取組【脱炭素ライフ推進部会・フードドライブプロジェクト】

●フードドライブ実証事業（事務局：県循環型社会推進課）

フードドライブ実証事業の全体像：既存物流網を活用した「積合せ配送」モデル

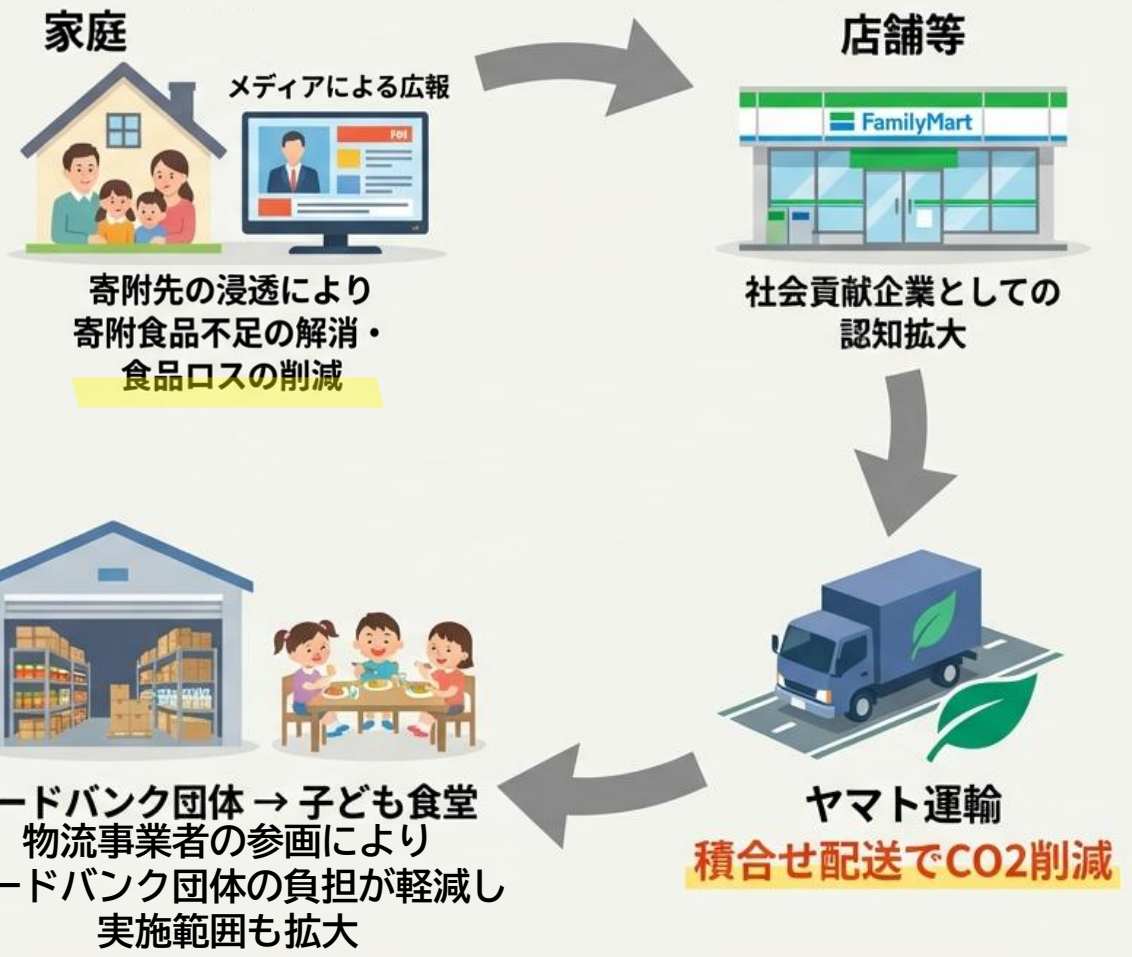
背景・目的

●課題：寄附食品の回収・運搬にかかる「コスト」と「人員不足」が、フードバンク団体等の大きな負担。

●解決策：ヤマト運輸の既存配送ルートを活用した「積み合わせ配送」の導入。

●目的：食品ロスの削減、食品廃棄及び二酸化炭素排出量の削減、寄附食品の有効活用を図る。

●参加者：ヤマト運輸、ファミリーマート、東日本放送、宮城テレビ放送、ふうどばんく東北AGAIN、亘理町社会福祉協議会



3（5）部会の取組【脱炭素ライフ推進部会：再配達防止プロジェクト 】

●再配達抑制に向けた共通ツールの作成

・県民会議団体会員が共通で使用できる広報ツールの作成



●環境イベントへの出展

・「みやぎゼロカーボン大作戦」への各メンバーの出展や、「再配達防止」をテーマとした合同出展を通じた普及啓発





4. 地球温暖化防止活動推進員について

地球温暖化防止活動推進員とは

県民の皆さんに対して地球温暖化の現状やその対策に関する正しい知識を広めるとともに、県民の皆さんが身近なところから様々な地球温暖化対策に取り組めるようアドバイスや活動のお手伝いを行っていただく方として、**宮城県が委嘱しています。**

役　割

① 自らの省エネ行動の率先実行

② 地球温暖化対策に関する普及啓発

(例)
・講演会やイベントの実施，参加，周知への協力
・e行動宣言等の行動ツールの普及啓発　など

～活動における留意事項～

① 推進員として活動する際は，営利の追求を行わないでください。

② 推進員の活動はボランティアです。謝金や旅費の支給はありません。

③ 取り組み方法等細かい定めは設けていません。 皆さんの知識・経験を活かし，多くの人に温暖化対策の重要性について普及をお願いします。

※ストップ温暖化センターみやぎでは推進員の活動の支援を行っています。

ご清聴ありがとうございました。





